



【教育目標】

自立に向かう生徒

ゆめ おり ばし

# 夢織橋

味方中学校だより No.8

令和5年10月17日発行

<http://www.ajikata-jhs.city-niigata.ed.jp/>

## 令和5年度 前期終了!! (10月6日) ～味方中かけがえのない105人 一人一人の成長をかみしめて～

10月6日(金)に令和5年度の前期が終了し、前期終業式が行われました。全校生徒を代表して3名の生徒が前期の振り返りを発表してくれました。前期の自分自身をしっかりと見つめ、今自分が思うことを自分らしい言葉で全校生徒に精一杯伝えていた姿が素晴らしかったです。

### 1年生代表

私が前期で頑張ったことは二つあります。

一つ目は委員会です。初めての中学校での委員会で、私は保健環境委員会になりました。熱中症予防を呼びかけたり、いろいろなポスターを作ったりしました。どうしたら目に止まりやすいか、どうしたら見やすいかを考えながら作りました。毎週ある日常活動も忘れずにすることができました。でもたまにフッ素をもってくるのを忘れてしまったりしてしまうことがあったので、次の委員会ではそういうことがないようにしたいし、委員会ではあまり発言をしなかったので積極的に発言できるように頑張りたいです。

二つ目は部活です。部活に入ってから本格的に卓球を始めたので分からないことや難しいことがたくさんありました。でもコーチや先輩が優しく、分かりやすく教えてくれたので、どんどん上達することができました。大会にも積極的に出るようにして、自分が今どのくらいのレベルなのかを分かるようにしています。まだ、出来ないことや失敗してしまうことがたくさんあるので後期ではたくさん練習をして、卓球部の一年生に先を越されないように頑張りたいです。前期では思うように結果を残すことが出来なかったので、後期では結果を残せるように頑張りたいです。

後期で頑張りたいことは部活と勉強の両立です。中学校から部活が始まり、強くなりたいので、どうしても部活に集中してしまうかもしれないけど、平均点以上はとれるようにしっかりと、勉強も頑張りたいです。中学生になってから、授業が難しくなり、覚えることもたくさんあるので、家に帰ってから、予習、復習を忘れないでしていきたいです。後期に入ったら、テストでいい点をとって、部活の大会でもいい成績を残せるように頑張りたいです。

### 2年生代表

私が前期で頑張ったことは二つあります。

一つ目は部活です。

私は吹奏楽部に所属しています。八月に先輩方が引退してから、部長として部を引っ張ったり、ドラムを始めたり、色々なことに挑戦してきました。始めたばかりは慣れないことが多く、少しぎこちなかったですが、先輩やみんなのサポートでスムーズに出来るようになってきました。これからはできることをもっと増やしていきたいです。

二つ目は、人の前で話すことです。

前期は人の前で話す機会がたくさんありました。私はあまり人前で話すことが得意ではないです。ときどき、緊張して言葉が出なくなったりしました。それでも伝えたいことをみんなに伝えられるよう頑張りました。これから人の前で話す機会が増えてきます。そのために話す内容を先に考えてスムーズに話せるようにしたいです。

最後に、私の後期の目標は「アンサンブルコンテストで良い結果を残すこと」です。私たち二年生は、今年で最後のアンサンブルコンテストになります。なので、アンサンブルコンテストに向けて今からできることを始めていきたいと思っています。『本番は練習の延長線上』、前に藤田先生の言っていた言葉です。この言葉を胸に、練習をおろそかにしないで一生懸命取り組んでいきたいです。

### 3年生代表

僕が前期で頑張ったことと反省を話します。

頑張ったことは部活やパネルの他、夏季講習などです。部活ではコンクールに向けた練習の積み重ねや、演奏イベントの練習など頑張りました。コンクールでいい結果にはなりませんでした。部活で培った気持ちの強さや、やり通す力を今後の学校生活に活かしていきたいです。さらに、後輩へ技術を伝授したり、引退への準備に励みました。部活は長いようでごく短い時間でしたが、楽しい時間でした。

パネルでは校長先生が言われていたように、まとめる人はフォロワーがいるからこそ役立つことを深く理解して取り組むことができました。さらにお互いの軍で困ったりしていた時にサポートし合うことができました。少し時間にルーズだったところがあったので、受験勉強や他の物事に取り組む時は時間配分を計画的にして、少しでも結果を良くしていきたいです。

次に、夏休み中の塾の夏季講習では、一日6時間半の長時間勉強をしました。勉強自体に慣れるため、ワークなどを使っていつもより多めに勉強しました。初めてで難しく感じることもあったけど、やれることをすべてやれたと思います。しかし、部活での疲れを理由にしたり、ただ単に面倒だからと言って勉強を怠ることもありました。この反省から、後期は言い訳を作らず、決めたことは絶対するようにします。プロボクサーの那須川天心さんがいつも言っているように「関係ないしょ気持ちっしょ」の精神で頑張ります。後期からは本格的に受験シーズンがスタートします。自分の進路に迷ったりするかも知れないですが、いつも気持ちでは負けたくないようになります。

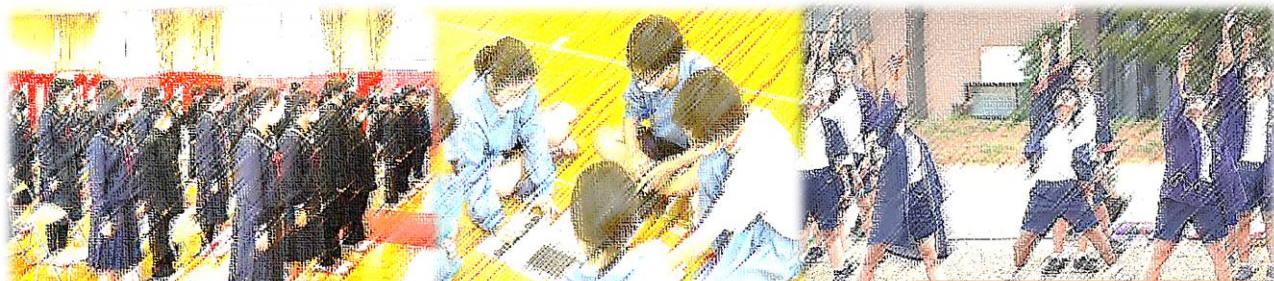
最後に、今の三年生のメンバーで過ごせる時間も少なくなってきました。仲間の大切さを感じたり、協力して学ぶことの楽しさを理解して、より良い学校生活を送ってきたいと思います。

3人の発表には、「(委員会のポスター作りで) どうしたら目に止まりやすいか、どうしたら見やすいかを考えながら作りました」、「私はあまり人前で話すことが得意ではないです。ときどき、緊張して言葉が出なくなったりしました。それでも伝えたいことをみんなに伝えられるよう頑張りました」、「自分の進路に迷ったりするかも知れないですが、いつも気持ちでは負けたくないようになります」など心に刺さる言葉がたくさんありました。前期で多くの学びがあったことがよく伝わってきました。

終業式での発表は3人だけでしたが、令和5年度の前期は、105人全員に学びと成長があったと確信しています。授業や行事の振り返り、委員会での活動の様子、清掃などの日常活動への取り組み方、部活動の様子から成長をひしひしと感じます。

何でもうまくいくことがよいことではありません。悩んだり、迷ったり、工夫したり、挑戦したりするからこそ力が付きます。失敗大いに結構。苦手な事への挑戦お見事。恐れることはありません、まずやってみましょう。行事でも、授業でも、委員会でも、清掃でも、部活でも、この味方で体験できることに何でも取り組んでみましょう。困ったら困ったと言いましょ。うまくいかなかったら助けてもらいましょ。この味方中学校にはみなさんを支えてくれる仲間、教職員がいます。

失敗しながら、間違いながら、悩みながら、工夫しながら、仲間のよさをマネしながら、挑戦しているうちに、少しずつ少しずつ力がついてきます。その力は、みなさんにとって将来生きていくために必要な力です。味方中学校は、将来生きていくために必要な力をつける所です。さあ、後期も共に進んでいきましょう。



令和5年度 前期 一つ一つ紡いできた味方中学校全校の絆

後期へ 続く！！

### <地域 保護者のみなさまへ>

日頃より、味方中学校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力ありがとうございます。おかげさまで、令和5年度前期の教育活動が充実したものになりました。前期の教育活動で大切にしてきたことは、「子ども自らがよく考え、主体的に行動する」ということです。「自分(自分たち)でよく考える」「自分(自分たち)が動く」機会を意図的に設定し、そのための支援を精一杯行ってきました。後期もこのことを大切にしながら、さらに一人一人に力をつけていきたいと思っています。後期も何卒よろしくお願ひいたします。